

令和2年度（2020年度）

学校をよりよくするために アンケート集計結果まとめ

令和3年3月吉日
（2021年）

保護者の皆様

千里みらい夢学園
吹田市立桃山台小学校
校長 小早川 泰樹

旅立ちの春の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。
日頃は、本校の教育活動ならびに、千里みらい夢学園小中一貫教育活動にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、「学校をよりよくするために」のアンケートには、多くの回答をいただき、貴重なご意見を聞かせていただくことができました。ご協力ありがとうございました。

アンケートの集計結果については、今年度の本校の教育活動についての成果と課題を検証する資料とさせていただくとともに、小中一貫教育の充実と推進のための資料とさせていただきます。

今後とも、本校の教育活動、並びに千里みらい夢学園の小中一貫教育の充実のために、保護者の皆様には、よりよき理解者、またよきパートナーとして、引き続きご支援、ご協力をいただきたいと思います。

どうぞよろしく願いいたします。

なおアンケートの集計結果については、本校ホームページに掲載いたします。



1. 保護者アンケート

◆考察◆

学園共通項目1～6をはじめ本校独自の7～22全般を通して昨年同様に肯定的な回答を多くいただきました。日頃より保護者や地域の皆様が本校教育活動に対して温かく見守ってくださっている様子を伺うことができ大変感謝しております。以下の考察をご覧ください。

○問7「学校だよりや学年だより等で、学校の教育方針をわかりやすく伝えている。」では、肯定的回答が91.6%でした。問8「学習の内容や進度等を、懇談や学年（学級）通信などによって、知ることができる。」では肯定的回答が89.6%でした。昨年度より5ポイントほど低く、教育活動をお伝えすることが難しかったことも要因と考えられます。来年度も学校ホームページ、学校だより、ブログ、学年だより等で保護者の皆様にわかりやすく学校の教育方針や学習内容・児童の様子をお伝えしてまいります。

○問11「学校は体育の授業や行事など、子どもの体力向上に取り組んでいる。」では、肯定的回答が90.2%でした。今年度は水泳学習が実施できませんでしたが、なわとび集会の取組や課内・課外クラブでの運動機会の保障など、子どもたちの体力向上をめざし、子どもたちの実態を踏まえて、可能な限り実施いたしました。来年度も実態に応じた取組を進めていきます。あわせて、教員向けの実技研修を実施し、安全面を配慮した授業づくり・指導力の向上にも努めてまいります。

○問12「子どもは授業が楽しくわかりやすいと言っていますか。」では肯定的回答が87.5%でした。学校では、子どもが「わかる授業」「たのしい授業」を目標に研究授業や校内研修に取り組んでいます。今後も子どもたちの主体的な学習を保障し、授業で自分の学びが深まることを実感できる授業づくりに努めてまいります。また、今年度3学期に導入されたiPadのコンテンツを活用させながら、「伝え合いながら、自ら考える」力の育成もめざしていきます。

○問13「あゆみで子どもの学力や学習の状況がわかる。」では肯定的回答が87.9%でした。あゆみの評価方法は一定の学習目標に到達しているかどうかについて評価する絶対評価で行っております。また、昨年度よりあゆみの電子化を行い、あゆみの表記について学習内容やねらいができる限り、わかりやすい表現になるように努めてきました。これ

からも気になることやわかりにくいことがあれば、いつでもお尋ねください。

○問14「子どもの能力や努力を適切に評価している。」問15「子どものことについて相談に適切に応じている。」問16「子どもの間違った行動に対し、適切に指導している。」に関しては肯定的回答がどの項目も昨年度より5ポイント減少しました。学校では、結果だけではなく、子どもたちの努力、がんばりにも目を向け、励ましの声をかけながら指導を行っています。また、授業や集団生活に関する規律については、子どもたちの現状にできる限り目を向けて、指導に取り組んでまいります。子どもたちが困ったときには、相談できる大人が近くにいることも伝え続けていきます。指導の効果を上げるには学校だけの取り組みでなく、家庭との連携が不可欠です。今後も、子どもたちを中心にとらえ、子どもたちが健やかに成長できるようご理解・ご協力をお願いします。

○問17「学校は子どもに関する人権やプライバシーが守られている。」では、肯定的回答が87.7%でした。学校の情報を学校だよりや広報誌の記事の写真等で発信する際に、個人が特定されないよう配慮しております。その他の個人情報の取扱についても法令に則り、保護に努めてまいります。

○問18「学校はいじめのない学級・学校づくりに取り組んでいる。」では、肯定的回答が昨年度より微減し、81.0%でした。学校では、毎学期に実施している「生活アンケート」をはじめ、全教職員が児童の日常のさりげない行動や言葉遣いにも気を配り、いじめを許さない学校づくりを目指しています。組織として、対策委員会などを必要に応じて開く体制や未然防止、いじめの早期発見・解決に向けてさらなる努力を重ねてまいります。また、保護者からの情報で分かることもたくさんあります。ささいなことでも気になることがあれば、必ず学校へお知らせください。

○問19「学校は互いを認め合い自分や友だちを大切に学習をしていますか」では、肯定的回答が89.6%と3ポイント向上しました。いじめ予防プログラムを活用しながら、いじめ予防リーダーを中心に組織的な取組を今年度は行ってまいりました。今後も、子どもたちが自尊感情を高め、自他ともに認め合い、より良い人間関係を築いていけるよう、集団作りや道徳教育を中心に「こころの教育」「多様性教育」を進めていきます。

○問20「学校は地震・火災・不審者等の緊急な事態に対応していますか」では肯定的回答が85.3%と昨年度より10ポイントほど減少でした。不審者対応訓練・地震・火災避難訓練、引き取り訓練等が未実施となりましたが、緊急な事態に備え、来年度は可能な限りで訓練の実施を行ってまいります。また、登下校の安全については、教職員の立哨・パ

トロールを実施しておりますが、これからも地域やご家庭の方々のご協力を仰ぎながら、見守り活動を行ってまいります。

○問21「学校はものが壊れたらすぐに修繕するなど施設・設備の整備に努めていますか。」では、肯定的回答が昨年度より減少し、60.4%でした。学校では、学校でできる修理・修繕は日々校務員と連携して実施しています。学校で対応できないことについては、市役所に要望を提出し、順次営繕補修を依頼しております。今年度、4年越しにブランコが改修されました。また、エレベーターも設置され、必要に応じて来年度から運用してまいります。自由記入欄ではまだまだ、「トイレを改善して欲しい。」という意見をいただいています。トイレ清掃については、引き続き子どもたちへ指導していくとともに、衛生面での課題解決にもいただいたご意見を参考に、できる限り施設の営繕・修繕に努めてまいります。これからも児童が安全かつ安心して過ごせるよう環境整備を進めてまいります。

○問22「学校はコロナ対応等について、適切に取り組んでいますか」では、肯定的回答は88.9%でした。国や府、市の動向を捉え、迅速な対応に努めてまいります。これからも子どもたちの安全を最優先に、適切な環境づくりを進め、教育に活かしていきたいと考えております。

2. 児童アンケート考察

◆考察◆

○「学校は楽しいですか。」では、昨年度より増加し、肯定的回答は平均92.0%でした。「学校行事は楽しいですか。」では、肯定的回答の平均が96.0%でした。ほとんどの子どもたちは、学校生活が楽しく学校行事に満足していると捉えています。しかし、ごく少数ですが、あてはまらないという意見や無回答の子どももいます。学習の難易度や他者との距離感に悩む子どもの理解を深めるとともに、運動会などの大きな行事に不安やプレッシャーを感じている子どもの存在を意識して、すべての子が活動に前向きに取り組めるよう教育活動を進めてまいります。

○「地震や火事や不審者にあつたとき、どうしたらいいか教えてもらっている。」では、肯定的回答の平均が92.9%でした。今年度は、火災・地震・台風・不審者と年4回予定していた避難訓練はいずれも行えず、教室での指導のみとなりました。教職員だけで不審者対応訓練や学校安全点検（毎月）は今年度も実施しており、「いつ、いかなる時でも

子どもたちが自分の命、人の命を守って行動できる」よう指導していきます。

○「先生は私の話をよく聞いてくれる。」では肯定的回答の平均が91.5%、「先生の授業はわかりやすい。」では、肯定的回答の平均が93.7%、「がんばったことは、先生に認められたり、ほめられたりしている。」では肯定的回答の平均が83.8%、「先生は困っているときに助けてくれる。」では肯定的回答の平均が88.0%でした。これらの4項目については、昨年度より肯定的回答が増加しました。学級の子どもはもちろんですが、学年・学校全体で子どもたちの小さな変化を見逃さず、だれもが安心して、前向きに学校生活に取り組めるよう支援していきたいと考えます。一方で「授業中、分からないことがあれば質問していますか。」では、肯定的回答の平均が71.5%となっており、1.5ポイントほど減少しました。分からないことをそのままにしている児童が少なからずいます。また、学年が上がるにつれて、質問をすることへの抵抗感を感じる子どもの姿や何をどのように質問すればよいのか戸惑っている姿も見受けられます。学校として、子どもたちが質問する力をつけると同時に、授業で質問しやすい雰囲気を作るよう、さらに努めてまいります。

○「クラスにいると楽しい。」では、肯定的回答の平均が1ポイント増加し、92.9%でした。どの子も安心してクラスで過ごせる人間関係づくりが大切です。全ての子どもが、安心して楽しく過ごせる集団づくりをしていきたいと思えます。

○「クラスでいろいろな話し合いができています。」では、肯定的回答の平均が1.5ポイントほど増加し、89.4%でした。ここ数年間授業では、「学びのスタイル」を通じて、ペアやグループでの話し合い活動を取り入れたり、お互いの考えを交流したりする場を大切にしています。その成果がこの回答に表れていると考えます。一方で、考えを話し合うことが難しいと感じている子どももいます。継続して、自分の考えを伝え合う機会を授業の中で保障してまいります。

○「学校で自分や友だちを大切にするための学習をしている。」では、肯定的回答の平均が2ポイント増加し、91.0%でした。学校では、道徳の時間のみならず全ての教育活動のなかで、一人ひとりを大切にすることを進めてまいります。

○「担任の先生のほかにも、話を聞いてくれる先生がいる。」では、肯定的回答の平均は昨年度より5ポイント減少し、73.0%でした。担任の先生だけでなく、学校全体で子どもたちを支援し、全ての教職員へ相談ができること、安心できる居場所があることを児童にこれからも伝えてまいります。